

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	:十分達成できている
B	:おおむね達成できている
C	:やや不十分である
D	:不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>【知】着々と進めてきた「主体的・対話的な学びあい」の成果が少しずつ認められてきている。今後、個別学習と協働学習で得た個々の考えをどのように深い学びへ導くのかを更に充実させていきたい。</p> <p>【徳・体】情操教育、いじめ対応、キャリア教育、児童の健康管理等における成果は、家庭・地域との連携が大きな推進力となった。次年度も、地域と連携した体験活動を継続深化させ、実生活に根ざした豊かな心と健やかな体の育成を一層推進する。また、学校が児童にとって安心できる居場所になるよう、児童のSOSに対し、素早く、丁寧に、納得のいく対応を根気強く行っていきたい。</p> <p>【働き方】時間外勤務の目標値達成、教職員の協力体制に対する肯定的な回答は、安定した職場環境につながっている。子どもたちのために質の高い教育活動を行うためにも、教職員が健康で笑顔であることが必須であることを忘れず、今後も業務改善をすすめ、互いに悩みや課題を分かち合える相談体制の充実を図ってきたい。</p>
2 学校教育目標	<p>心豊かに創造性を発揮し、たくましく生きる子どもの育成 ～「子どもを真ん中」にした学校づくりで 幸せいっぱい～</p>
3 本年度の重点目標	<p>スローガン「聴こう、話そう、対話で広がる幸せいっぱい白石小」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から伝える子ども ・みんなで広げる子ども ・何度でも立ち直る子ども

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)		達成度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○校内研究の充実	○「学ぶ方法を選んだり、友達の考えをきいたりして自分の考えを詳しくすることができる」と回答する児童83%以上。	・話し合い活動の目的を伝え、話し合うことの意義や良さを実感させるために話し合いの目的を伝え、形態の工夫を行う。 ・子どもが発言できる時間を設け、「子どもの考えを聞く」ことを意識するために、授業内で目指す姿を明確にし発問を工夫する。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校アンケートにて、道徳の授業自分の考えをもったり、友達との交流の中で考えを深めたりすることができた児童が80%以上	・ふれあい道徳を全学級実施し、授業参観で公開する。 ・授業後のワークシートなどを学級通信で保護者に伝える。						
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができており回答した教員が80%以上 ○いじめ等の対応や指導を適切に行っていると答える保護者が80%以上	・毎月「心のフォーラム」を実施する。 ・人権集会(教室)を計画的に実施する。 ・気になる児童については、毎週水曜日の職員連絡会で共通理解し、対応策を協議する。						
●健康・体づくり	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれて、いると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・各種体験活動では、活動の見直しをもたせ、一人一人が主体的に活動できるようにする。学びのふり返しを行い、児童の頑張りを称賛する。 ・自分の目標や将来の夢について考える機会を学年に応じて授業の中に設定する。						
	●「望ましい生活習慣の形成」	○各学年の目標就寝時間までに寝る児童70%以上 ○朝食をとる児童90%以上 ○1日3回歯磨きをする児童80%以上	・9月と1月に「はなまるすこやかチェック」を実施し、1週間、就寝時刻、朝ごはん、歯みがき、ゲームの時間等について振り返らせる。 ・自分の生活を見直したうえで自分なりの目標を立てさせる。 ・歯科衛生士と協力してブラッシング指導を行う。 ・便り等で保護者に知らせ、協力をお願いする。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○児童の体調管理の習慣化	○自分で体調を意識しながら日常生活を送れていると回答した児童が80%以上	・天候に応じて外遊びもしくは室内遊びをすすめ、熱中症対策を徹底する。 ・自分の体調管理を意識するような学級指導を行い、気象状況に応じた帽子着用やこまめな水分補給の習慣化を図る。						
	●業務効率化の推進と時間外在職等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・職員の時間外自発勤務の時間の平均が、月45時間以内になるように勤務管理システムを活用した勤務実績の自己確認による自律的な働き方を推進するために月1回連絡会で確認する。 ・配布物・調査物等デジタル化したり、会議を精選しゴール(めあて・終了時刻)を明示したりして、業務削減を目指す。 ・毎週金曜日を定時退勤推進日とし、掲示板に掲げたり、個別に声掛けをしたりする。						
●特別支援教育の充実	○学校組織、教職員集団としての働きやすい雰囲気づくり	○管理職への「報告・連絡・相談」を通して、未然防止と初期対応ができており、働きやすいと答える職員が80%以上	・職員が、様々な問題を一人で抱えこまないように些細なことも随時紙媒体(メモ)で管理職に報告する。管理職は状況に応じたチームを作り対応をする。						
	○インクルーシブ教育の推進 ○ユニバーサルデザインの推進	○インクルーシブ教育についての知見を深め、個に応じた指導を意識して授業を実践できる職員を80%以上 ○ユニバーサルデザインについて知り、学校共通の取り組みを行う職員が100%	・授業の工夫、個別支援等の具体的な支援方法について連絡会等で紹介したり、外部講師を招聘したりして啓発を図る。 ・環境面の配慮や授業内容の改善等について共通実践事項を決め、職員会議等において定期的に確認する。						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)		達成度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
○危機管理・安全教育	○職員・児童の危機対応力の育成 ○防災教育の推進	○「学校は防災や不審者侵入などの対策ができています。」と答えた保護者が80%以上	・年3回の避難訓練を昨年度の反省を元に実施し、職員・児童の危機対応力を高める。 ・月1回の安全点検を必要に応じて複数の目で点検するなど、確実に遂行し、問題点は必ず対応する。						

5 総合評価・次年度への展望	<p>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育</p>
----------------	----------------------------------